

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00600120
基幹・一般の別（選択記入）	基幹統計調査
調査の名称	建築着工統計調査（建築工事費調査）
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div><div><div><div><div><div>☑ 1.調査の目的</div><div>☑ 2.調査対象の範囲 ※</div><div>☑ 3.報告者数等※</div><div>☑ 4.報告事項とその基準期日 ※</div><div>☑ 5.報告の方法 ※</div><div>☑ 6.報告を求める期間 ※</div><div>☑ 7.集計事項 ※</div><div>☑ 8.結果の公表方法及び期日 ※</div><div>☑ 9.使用する統計基準</div><div>☑ 10.調査票情報の保存</div><div>☑ 11.立入検査</div></div><div><div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div><div>報告を求めるために用いる方法</div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div><div>全項目整合</div></div></div></div></div>
-----------------------------	---

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし <input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
-----------------------------------	--

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	統計作成プロセス診断の結果も踏まえて、令和5年度に作業プロセスの抜本的な見直し（BPR）を行った。 見直しに当たっては、まずは現状の業務フローを整理し、課題・問題点を踏まえて、新しい業務フローを構築し、それに沿った新しい業務マニュアルの整備を行った。 令和6年度には、実際の業務を進める中で、新業務マニュアルの内容について確認を行う。	調査計画の見直し・改善 ○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 ○ プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
	<div><div>達成精度</div><div>回収率・回答率</div><div>○ 回収調査票数</div><div>カバレッジ</div><div>その他</div><div>設定なし</div></div>	5,000件回収 工事費調査の前身である補正調査で調査依頼していた5,000を維持する。	令和2年	令和4年 6230	令和3年 5767	対象なし